

レーザーよりも時間も手間もかかるけど安くして結果も出ます

塗り薬でシミは取れるか？

使う薬はこの2種類。調査開始！

70日間リアルレポート！

シミがあるだけで何歳かは老けて見えてしまうもの。シミ治療と言ったらレーザーを思いつく方が多いと思いますが、実は塗り薬という手もあったんです！今回は6人が体当たり取材。コツコツ、コツコツ70日。さて、結果はいかに？

撮影/山下光太郎、神保博久、人物、BLOOM、クリック、イラスト/まろはる、取材/川崎あゆみ、編集/長尾、デザイン/西原紀代子

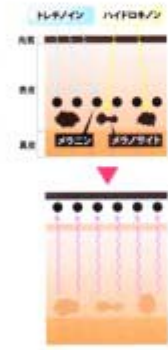
トレチノインはターンオーバーを促進

トレチノインとはビタミンAの誘導体で生理活性はビタミンAの50~100倍と言われています。角質をはがし、また表皮の細胞分裂を促すので、皮膚のシミ・たるみ・小ジワを改善する作用があります。



ハイドロキノンは強力な漂白剤

ビタミンCやプラセンタなどの美白成分では、今からできるメラニン色素を取り去ることは難しいとされていますが、ハイドロキノノンならば可能と言われ、またシミ予備軍を防ぐ効果も！



トレチノインは表皮の深い層にあるメラニン色素を外に出し、ハイドロキノンは新しいメラニンを作らせない。結果、皮膚がキレイに生まれ変わるので！

レーザーと塗り薬のメリットとデメリットは？

	価格	治療期間	ダウンタイム	向いているシミ
	塗り薬	<p>安め</p> <p>トレチノインとハイドロキノンの併用で、1カ月約¥2,500~8,000(処方される薬により異なる)。肝斑などは内服も併用したほうがいいので、その場合は別途1カ月¥3,000ほど。</p>	<p>長い</p> <p>個人差が大きいですが、数カ月はみたい。病院によっては半年~1年くらい続けることを推奨しているところも。長期的にやることで、シミだけでなく毛穴を縮める効果や小ジワにも。</p>	<p>軽め</p> <p>個人差が大きいですが、塗ってすぐ一数日経ってから赤くなったり皮がむけたりする症状が。化粧で隠れるレベルから、そうでない場合も。</p>
レーザー・光治療器	<p>高め</p> <p>1回につき、安いところで¥10,000~高いところでは¥50,000以上と、金額は幅広い。</p>	<p>短い</p> <p>シミやレーザー・光治療器の種類により、1回でシミが消えるものもあれば、刺激が比較的小さい照射で1カ月に1回×4回を1クールとしているところも。</p>	<p>重め</p> <p>レーザー・光治療器の種類により、弱いものはその日にお化粧も可能。強いものは、絆創膏などで何日か皮膚を保護する必要も。</p>	<p>濃いシミ</p> <p>シミ全般(種類により異なる)。ただ、レーザー・光治療器によって、肝斑などは悪化させてしまう場合があるので注意。</p>

